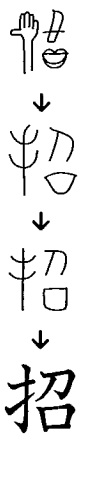
招

五年

画数 8
筆順 扌 扌 招
オン ショウ
クン まねーく

成り立ち



「召す（よびよせる）」という意味の〝召〟に、手の意味の〝扌〟を加えて作った字です。

〝召〟が、目下の者を〝よびよせる〟のに使われる字であるのに対して、〝招〟は、〝まねく（招待する）〟ことを表した字です。〝召〟が「来なさい」という命令調であるのに対し、〝招〟は「おいで下さい」とお願いする態度です。

使い方

▽わたしは友だちの誕生日に招待されました。今から楽しみです。贈り物を何にしようかと、色々と考えています。

▽ぼくは、面白い遊びを思いついたので、さっそく友だちを招集しました。皆、すぐやって来たので、やり方を説明して、一緒にやってみました。

熟語例

▽招待（人を招くこと。）

▽招集（人を招き集めること。）

▽招来（招きよせること。「成人病の増加が、健康食ブームを招来した」などというふうに、つかいます。）

▽招致（招いて来てもらうこと。「この都市に、新しい美術館を招致する運動が始まった」などというふうに、つかいます。）

▽招請（招き請うこと。頼んで来てもらうこと。「わが校に、新しい、優れた先生を招請した」などというふうに、つかいます。）

承

五年

画数 8
筆順 ⺇ 了 子 承 承
オン ショウ
クン うけたまわーる

成り立ち

天子が手わたす〝割り符（手）〟を〝両手（八）〟で〝受けとる〟ことを表した字です。

諸侯（諸国の支配者）や将軍が、天子から、割り符といっしょに命令を〝うけたまわる〟ことを表した字で、〝うけたまわる〟という意味を表したものです。

〝うけたまわる〟とは、〝受ける〟ということばの敬語です。尊敬すべき人から〝受ける〟場合には〝うけたまわる〟と言い、〝承る〟と書きます。

割り符は、「二つに切り割って符（しるし）とするもの」という意味のことばで、二人が別々にもっていて、他日の証拠とするものです。

また、〝受けつぐ〟という意味にも使われます。

使い方

▽品物を注文して、「承りました」という返事をもらい、十日にもなるというのに、まだ品物がとどいていません。

▽ぼくの一番つらいことは、お母さんに「そんな事は承知しませんよ」と言われることです。

熟語例

▽承知（〝知る〟の尊敬語。「承知しています」は、「知っている」という意味です。「承りました」の意味で、「引き受ける」意味にも使います。また「承知しません」は「認めない」という意味です。）

▽承諾（承も諾も「引き受ける」こと。聞き入れること。また、〝許可〟の意味にも使います。例本人の承諾を得てからにして下さい。）

▽承服（聞き入れて従うこと。）

▽継承（受けつぐこと。）

▽伝承（人から人へと受けつぎ、伝えていくこと。古くからの制度、風習、信仰、物語などについて言います。）